



CGノベル版 総集編

# 迷宮都市 Labyrinth City Asylum アサイラム

敬虔な聖女が快楽を  
信奉するようになった理由

基本CG57枚+α  
本編たっぷり280枚収録!

基本CG26枚+α 本編たっぷり140枚収録！



CGノベル版 後編

迷宮都市  
Labyrinth City  
Asylum  
アサイラム

聖女は堕ちて子宮で啼く

クローが元の犬に戻り  
ひと段落したイリスは  
領主の館へ約束を果たしたに向かうと  
図書室の掃除を任せられた

少しほこりが…  
最近あまり  
使われていない  
感じがすごいですね



真面目に掃除をしていた  
イリスは図書室には催●香が  
充滿していることに気付かなかった

そこに傾合いを見計らって  
やってきた伯爵は  
イリスに催●をかけ  
寝室へ連れ込んだ



くっ、寝ながらも  
反応するのかよ  
このスケベ女が…!!

ふう…っ!

もみゅん  
もみゅん

もみゅん

もみゅん

んん

+

+



はあ、はあ…  
何をしているんですか!?

何をそんなに驚くんだ  
『主人がメイドの身体に  
触ることは当然』だろう?

あー、そうですね  
「身体を触られるのは当然」…

セクシ

セクシ

セクシ







このメス女  
催促して  
きやがって……!

ち、違います  
別にそういう  
つもりじゃ……

うるさい!  
もういいから  
そろそろイ  
準備をしろ!

何ですか、これは  
どうしておっぱいが  
勝手に……んっ……!



魔力が流れてくる  
拒絶したいけど…  
乳首コロコロされるの  
気持ち良すぎて…

あ…

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

あ…





ありがとうございます  
ございます…

メイド服も  
似合ってるね  
イリス

ふふふ

ふふふ

もじもじ



またそんな風に  
揉まれたら...  
んっ...!!

ハッ...♡

ん...っ

わい  
わい

わい  
わい  
わい



はま

勝手にいくのは  
禁止しただろ？

はま

あつ、す、すみま…

はま

メイドが必要だな

嫌だ、私  
また胸で…!!

くっく

くっく

ざん

ざん

伯爵はイリスを机の下に押し込め  
「メイドが主人のち●ぽに  
奉仕するのは当然」と暗示をかけた

はむっ…  
ちゅうっ…  
♡

ちゅうっ

ちゅうっ

ちゅうっ

ちゅうっ

ぬおっ…!

ちゅうっ

ちゅうっ



くっそ、このメス女が...!  
どれだけチ●ポしゃぶる  
練習をしてきたんだ!

んぷっ!!❤





はははっ♡♡♡

べー!♡

は♡

は♡

は♡

は♡♡

ん?  
なんだ

…ああ、そういえば  
そんな催●もかけたっけ

よし  
もう飲んでいい

は♡

ひゃいっ  
…ごっくっ…♡

と



何とか我慢しようとしても  
乳首を握られたら  
おマ●コもギュッとして  
嫌でもおチ●ポで  
気持ちよくなっちゃうんです…♡

うーん…  
感度を制限したのに  
こんな状態になるとは

おチ●ポしゆき…♡  
もつとズボズボして  
ください…♡

ひゃんっ!!♡

七ッ



ちよつ、何勝手に腰を振っているんですか！人が喋ってる最中に…！！

そうそう  
やはり聖女はこうでなくては  
やっとなり甲斐がありそうだね

何の戯言を…  
くっ…♡

はまっ♡

はまっ♡

うっ♡

この状況は…  
まさか…  
こんな男の催●にかかるなんて…！！



今すぐやめなさい！  
あなたの犯罪は  
全て魔道具で録画しています  
教会の聖女をレ●プするなんて  
ただじゃ済みませんよ…！

はぁん

はぁん

確かに、聖女を犯●たという  
事実が知られたら  
僕は無事でいられないはず  
しかし、レ●プでなければ  
どうかな？

んっ♡

は…？

はぁ♡

はぁ♡

感覚の制限を  
解いてあげるよ





ちよつ、まっ  
やめえっ ♡

10 #

感度を元通りにしただけにしては  
ずいぶん反応しすぎているな

らめえ♡  
おっばいだめえっ♡  
今搾られたらっ♡



伯爵は中〇した後  
イリスの記憶を消した

その後、イリスは  
身体に違和感を覚えつつ  
ダンジョンへ向かった

……出てきなさい  
サン・ジェルマン  
見ているのは  
わかっていますよ

セー

こんなところまで追ってくるとは  
まったく、教会の犬たちの  
執念は見上げたものですね

教会の犬「たち」……？  
まさか、師匠が行方不明に  
なったのは……!!?



師匠……？  
ああ、ダンジョンに  
忍び込んだ  
ネズミのことですか

心配には及びません！  
カレは貴重なサンプルですから  
ホムンクルスの研究素材として  
活用させてもらっていますよ

貴様……！

最近では理論の完成度も  
かなり高くなりましたから  
アナタを捕らえて  
実験してみましよう

出てきなさい！  
ジャイアントゴーレム！





ジャイアントゴーレムに敗れた  
イリスは囚われ、逃げられないように  
全身が謎の薬と魔法で固まる  
魔法をかけられてしまった

人形化なんて  
また妙なまねを...

見てなさい  
こんなのすぐにも解いて  
やり返しに行ってあげますから

しかしイリスは人形に発情する  
性癖の金持ちに売られてしまった



はい  
刺激が強い場合、愛液、喘ぎ声  
絶頂などの反応を示すと思われま

いらない下着は  
捨てて…ん？  
人形なのに  
濡れるのか？

素晴らしい！  
はあ、はあっ…

くちゅ  
くちゅ

くちゅ

ばっ





おい  
どこがどう気持ちいいの  
ちゃんと説明しろよ？

挿入は、入り口を刺激するなどの  
方法もありますが、基本的には  
大きな体に押しつぶされて、ひううつ  
猛烈に突かれる方が  
一番気持ちいいと思いますう……♡

じゃあ、実際のイリス様にも  
この弱点たちが適用されるのか？



くそっ、高慢なふりしてたくせに  
とんでもないマゾ女だったじゃないか…!!  
いつか俺の下で押しつぶして妊娠させてやる!  
まずはお前からだ!

はい、今の行動を  
イリスにやったら  
きっと同じような  
反応を示すと思います

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

忍  
忍



金持ちの黒い欲望は  
射●しても治まらなかつた

来い  
応接室では使用人に  
見られるかもしれないから  
もっといいところで続けよう

んふんふ

っ…  
♡

ナカのもの  
垂れてきて…  
♡

イリス？

は、はい…  
♡  
お供、します…  
♡

ももも





何ですの、このチ●ポ  
サイズは少し大きいくらいなのに  
なぜかピンポイントで  
感じるどころだけ突いてきてえ  
しゅじすぎう……♡

うぐっ♡  
おおっ♡  
ふうえっ……♡

あゝ♡

あゝ♡



精●、出してください♥  
ご主人様の元気な精●を  
発情した子●にいっぱい  
いっぱい注ぎ込んで  
確定受精させてください…♥

ひゅん

ひうつり!?♥  
おうっ、へええ…♥

くそっ、おねだりしてから  
もっと締め付けてくるなんて…!

工房の連中、どんな  
格を入れてるんだ!  
これじゃあ  
聖女じゃなくて  
売●婦だろうが!

うぐおっ♥  
おおっ♥

おまっ♥  
おまっ♥  
おまっ♥

おまっ♥  
おまっ♥  
おまっ♥

おまっ♥  
おまっ♥  
おまっ♥

おまっ♥  
おまっ♥  
おまっ♥







射●を終えた男は  
イリスに魔道具を装着し  
起動すると手足が消えた

何、何ですか  
これは!?  
何をしたんです!

お前の手足は、魔道具を使って  
保管用の水槽に転送した  
感覚がないのは、怪我をするかもしれないから  
水槽に保存液と麻痺液を入れておいたからだ

なるほど、この魔道具さえ外せば  
元に戻るんですね  
なら安心……— なわけないでしょう!?

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ  
アッ  
アッ



これで完全に  
オ●ホールだな

ぐんぐん

おうっ  
おうっ  
待って  
待って

ぐんぐん

ぐんぐん

あ、  
♡

ぐんぐん

知るか  
オ●ホールの気持ちを考える  
飼い主がいるわけないだろ  
人形なら人形らしく  
ま●ここに力入れる!

う、ぐっ……♡

ぐんぐん  
おほ♡



ちくしょう、聖女様のような  
堂々とした表情までして…!  
どれだけチ●ポの喜ばせ方を  
知っているんだ!  
この欲望に満ちたメス人形が!



なんで…  
こんな風に犯●れてるの?  
気持ちよくなっちゃうん  
ですか…っ♡

くっくっくっ

ふぐっ!!♡♡

ふう…、突くたびに中が  
グチャグチャに  
締め付けてくるなんて

この味を知ったら  
スライムジェルになんて  
もう戻れないな  
お前は本当に  
最高のオ●ホールだ

違う…、私こそ…  
本物の聖女…♡

そんなわけないだろ  
ち●ちんで叩かれただけで  
表情が崩れちゃうくせによ  
神への冒涇で処分されなきゃ  
いいんだけどな





イリス

えへ……♡



イリスは男が満足するまで  
犯●尽くされ  
屋敷から逃げ出すのに  
苦労するのだった

数日後、ギルドに向かうと  
リッターが師匠をダンジョンで  
見つけて救出していた

ご無沙汰しております  
師匠  
ご無事で何よりです

聖女様も  
ご無事のように  
良かったです  
実は…

師匠は伯爵が魔族と内通している  
証拠を入手しようとして  
捕まってしまったと打ち明けた

そして探る内にダンジョンの  
最深部にある巨大で邪悪な何か  
おそらく魔王を聖遺物で封印している  
のではないかと推測していた

あり得ません！  
魔王は姉さんが…  
先代の聖女様が  
命がけで討伐されました！

決して残った封印なんか  
あるはずが…！

…いや、待て  
もしかして今代ではなく  
「前代」の魔王のことか…？

ああ…！  
その通りだ  
教会に記録さえ残ってなかった  
聖物の封印だから  
前の前の代、もしかしたら  
それ以上に古い魔王かも…、ゴホ！



イリスは師匠から得た情報を確認するため  
リッターと共にダンジョンへ入った

それで？  
あの話、どう思う  
信憑性はあるの？

はい  
師匠はただの推測だけで  
物事を言う方ではありません  
きっと相当な確信があるのでしょう

ということは魔族たちが  
ダンジョンに定着する理由は…  
魔王の力を利用するためか  
前代魔王の封印を解くつもりか

……

おい、どうした？



っ、うう  
ごめんなさい…  
めまいが…

トサッ

そういえば朝から  
疲れているようだったな

そ、その…  
えっと、あの…

ギョッ

んんん

血を吸うか？

いいんですか!!

暴走されるよりはままだ  
いいから早くやれ

…じゃ  
失礼します…  
はうむ

なんでこんなに  
血を吸いたくなって  
しまったんでしょう？  
…まさか封印の力が  
弱まってきている…？





うーん

セッ  
セッ  
セッ

ひゃっ!!?♡  
は、離せ!  
このやり方は  
危険…っ!

あ…  
リッターさんの血  
すごくおいしい…♡

セッ  
セッ  
セッ

あうっ、どけて  
言ってるだろう!!

セッ  
セッ  
セッ

ふう、はあ…♡

リ、リッターさん？  
ごめんなさい  
ちよつと理性が  
飛んでしまつて…  
大丈夫ですか？

はき♡

はき♡

おっ、おっ！

大丈夫だ…、それより  
聞きたいことがあるんだが  
君の姉は墮落聖女アステリア  
なのか？

…血は繋がって  
いないんですけどね

眞祖に体を奪われる前の姉さんは  
世界で一番  
素敵で美しくて強かったんです

ええ  
姉さんみたいに  
立派な聖女になりたくて  
ずっと努力したんですよ

へえ、あんたが  
そう言うくらいなら  
相当な人だったようね

私は姉さんのように  
みんなを導く人には  
なれないから  
せめて魔物でもたくさん  
退治しようと思ったんです

なるほど  
君が聖女になった  
理由はそのためか



あゝん  
なんだかえっちなこと  
してるじゃない、聖女様

ム

ひゃっ、カミラ!?  
ななな、何を…!

淫魔がいやらしいことを  
するのは当然でしょう?

むしろ淫魔に  
感じさせられて  
剣が乱れた  
あなたこそ…、ね?

だ、誰が感じたか  
いうんですか!  
くだらないことを…!

赤くなった顔で抗弁しても  
説得力はないわ  
ふふ、今日は結構楽しめそうね  
さあ、かかって来なさい

戦闘になり  
リッターとはぐれてしまった  
イリスは淫魔のカミラに敗けた

ふふ♡  
つ・か・ま・え・た♡

くっ  
殺しなさい!

いつの時代の騎士さんよW  
そこまで敵対する必要ある?  
条件次第で手伝う気もあるわよ?



何をくだらない  
ことを…!

本当よ

イリスが私のものになるなら  
今すぐこの件から手を引くわ

なんなら、後ろでこっそり  
手伝うこともできるわよ  
さすがに正面から戦うのは  
怖いけど、どう？

断ります  
喜んで淫魔の所有物になるなんて  
私はそんな馬鹿で  
卑猥な女じゃないですから

ふうん

そんな自信満々の  
イリスちゃんには  
私の秘蔵品を  
プレゼントするわよ

19

プレゼントって  
いったい——うっ！

セク

淫紋を刻むのよ  
淫魔の魔力で  
少女の大事なところを  
めちやくちやに浸すの  
きつと気持ちいいよ？

あっ♡

セク

セク

ひゃあっ!!♡

んっ♡

セク  
セク  
セク

んっ♡

あら、いい反応ね  
ふふっ、普段から  
結構こっちで  
楽しんでるみたいね

た、た、た  
たのしんでたり  
してませんよ!?

ふふっ、本当かしら?  
なかなか  
気持ち良さそうだけど?

こんなの、別に  
気持ちいいとか  
うっ...♡

誤魔化しても無駄よ  
女同士なんだからね?  
どこをどうすれば  
気持ちいいかくらいは  
全部わかってるわよ

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡



例えば  
乳首をしつこく  
触ってあげるとか

ぷっくりとした  
お豆を舌先で優しく  
転がしてあげるのも  
ぞくぞくするし

ふうっ……!!

同時に中から  
指で押し上げられると  
たまらないよね?

あーっ!!!



はあ…う、ぐっ…♡♡  
お腹押さないでっ…♡♡

大丈夫、大丈夫  
イリスちゃんならきつと  
耐えられるから！  
頑張れー！

あはは！  
イリスちゃん、もう完全に  
子●で感じちゃってますね  
聖女として、というか  
女として大丈夫かな？



このまま絶対に淫紋から  
抜け出せないように  
もっとしっかり、ちゃんと  
気持ちよくしてあげるよ♥

だめだしゆ  
そんなのらめっ♥

イリスは下着をつけ  
逃げようとしたが  
再び捕まってしまっ



うぐっ♥  
おうっ♥

セクシー♥

セクシー♥

おっ♥

セクシー♥

わあ♥

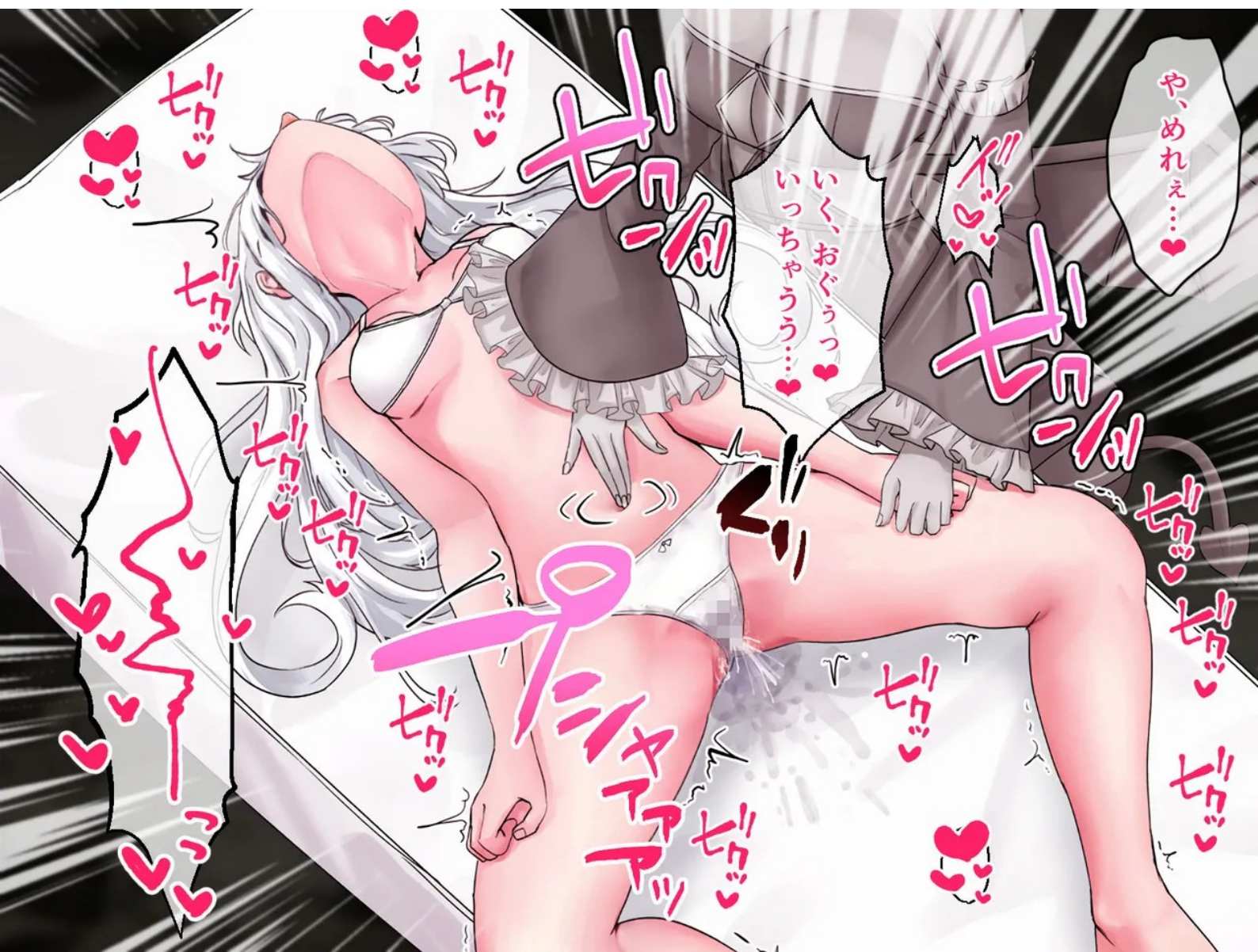
わあ♥

セクシー♥

セクシー♥

セクシー♥





や、めれえ...♡

いく、おぐらうっ♡  
いっちやうう...♡

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ジュンジュン

ほらほら  
ダラダラしてる  
場合じゃないわよ  
まだ始まった  
ばかりでしょ？

ひゃっ!!♡  
ちよ、ちよつと待つて  
まだイってる♡  
イってるのにいッ♡

ほっ♡  
ほっ♡  
ほっ♡

だからよ  
本当に満足してたら  
もういくのも  
できないでしょうから  
さあ、エイッ、エイッ♡





意識を失うその瞬間まで  
イリスは何度も何度も  
子●の快感を刻まれる  
ことになったのだった

目覚めたイリスはカミラに刻み込まれた  
快楽から逃れられなくなっていた

早く…私を触って  
いっぱい絶頂させて  
ください…♡

どき  
どき

どき  
どき

ぷっ  
もうマ●汁が  
溢れますよ

うっ…♡

とっ





やめて、らめ、いく  
いっっちゃうよお

ヒッ...

ん...

あゝ

あゝ

あゝ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



もういつちやったの？  
さすが開発済みの  
マゾ雌ね〜

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

セクシー♡♡♡

ひゅん♡♡♡



ふふっ、顔がとろけてるわ  
まあ、メスはこういう表情が  
一番よね

ふふっ...  
へえっ...♡♡

ほほ♡♡

あ...♡

ほほ♡♡

ほほ♡♡

お...  
お...  
お...

お...  
お...

お...  
お...

いいえ、私を愛して

いいえ、私を愛して

いいえ、私を愛して

いいえ、私を愛して

いいえ、私を愛して

いったい何を...

イリスちゃんの子●を完全に「私のもの」にしてしまおうのよ



バカな  
そんなこと  
できるわけ…

んんんんん

んんんんん

19  
アアアアア

あ…

んんんんん

あつ、心配しないでね  
これは形だけの鑄物で  
本物の子●はちゃんと  
体の中にあるから

嫌…  
何で、こんなこと







ごめなさい、ごめなさい  
全部、全部捧げますからあ  
●隷になりますからあ♡  
おねが、やめてえ

じゃあ契約しましょうか

そう言うって油断した際に  
イリスは立場を逆転させ  
自分に優位になるように  
魂の契約をするのだった



先に進むとリッターに  
合流することが出来た

リッターさん！  
よかった  
ご無事でしたか

ああ  
だが状況は  
あまり良くないぞ

この先のダンジョンの  
最深部に降りるためには  
三つの魔法陣を短時間で  
破壊しなければならぬ

二人は計画を立てると  
リッターは傭兵のグラッチェに  
協力を頼みに行くことになり  
イリスは教会へ向かった



せめて童貞を捨てたいと思って  
娼館に行きましたが  
娼館でも女の子たちが  
壊れるという理由で断られました…

んんんん

確かに長さだけでなく太さも凶悪で…  
こんなものが、女の子の体の中に  
入るわけがないじゃないですか…♡

んんんん  
んんんん  
んんんん

でももし…  
もしこのチ●ポに  
突かれたら  
どうなってしまうのか

シスター様？

ア●ルなら貞操とは  
関係ありませんから  
テ、テストしても  
構わないですよ…？

何がテストをしてもいい、ですか！  
尻を突き出した時点で  
愛液を垂れ流していたくせに！  
チ●ポを見た途端に発情したのが  
丸見えじゃないですか！

んほおお♡♡  
す、すみませえん♡



チ●ポ

パン！  
チ●ポ

チ●ポ

んほおお♡♡

くそ、いきなり飲み込むなんて…!  
腰を突き込むたびにねっとり  
チ●ポを締め付けるし、よく見ると  
ア●ルの周りも異様なほど膨れているし…  
一体お尻をどれだけ弄り回したんですか!

これは、全部  
無理やりされて、うっ  
うぐっ、あっ♡♡♡

やっぱり♡  
このチ●ポ♡  
すっぴいでしゅ♡♡♡

内臓の奥を  
丸ごと引きずり  
出されるみたいで…♡  
へえっ♡♡♡







うーん：  
つまり、これが魔族が  
教会地下にある魔法陣に  
触れた証拠ですか？

おはっ  
おはっ

ふぐっ  
おっ

おっ  
おっ

誰が獣の声を出せと  
言ったのですか  
人の言葉で答えてください

おはっ  
おはっ  
おはっ



ふざっ?!♡♡♡  
ひゃ、ひゃい♡♡

うーん…、これは心が痛みますね  
私はこれだけ一生懸命イリス様を  
教育してきたのに  
イリス様は私が魔族と  
内通したと疑うなんて

違います♡  
魔法陣、本当に危ないんです♡  
早く消さないと—

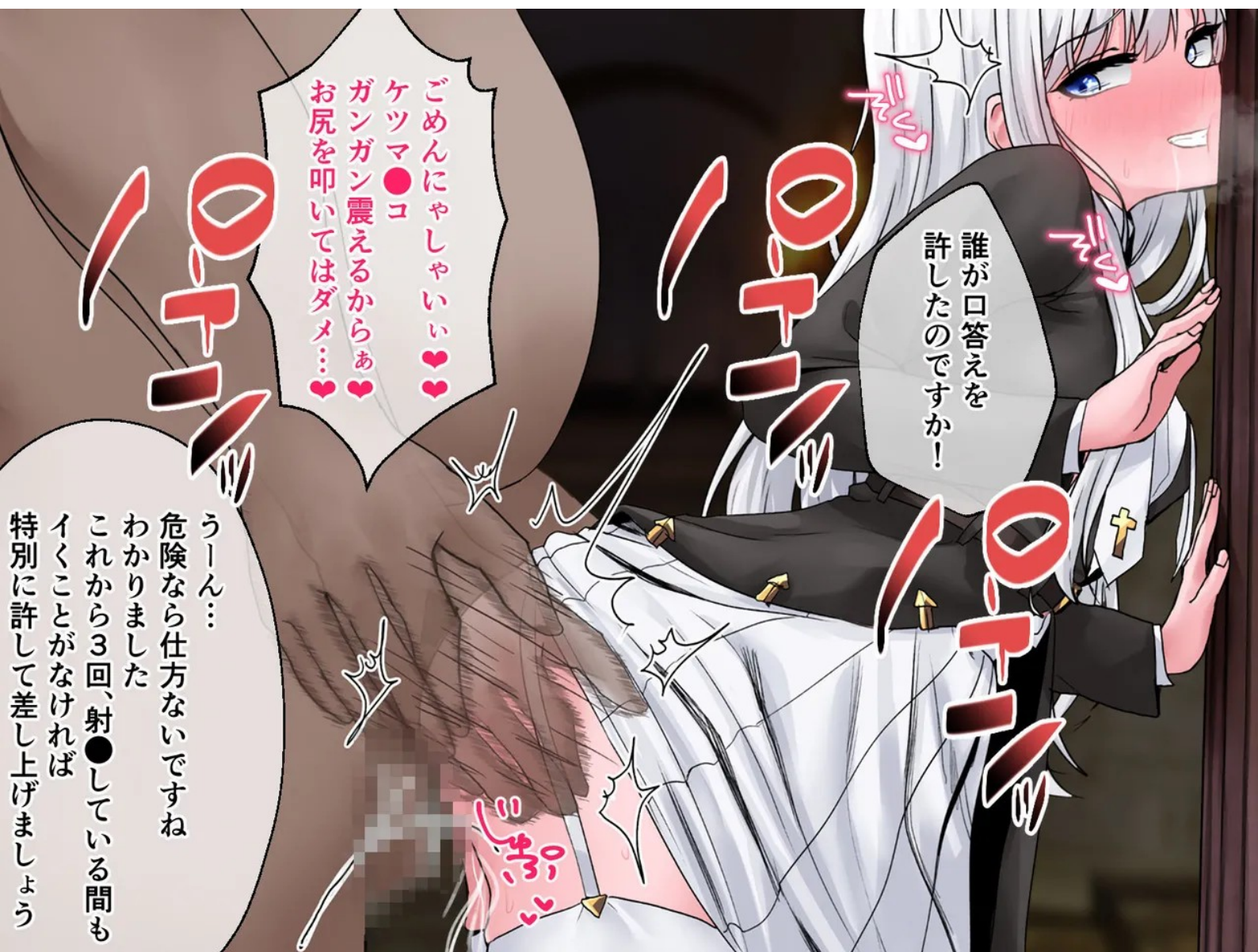
ははははは

ははははは

オッ

ははははは

ははははは



誰が口答えを許したのですか！

ごめんにやしやいい♡  
ケツマ●コ  
ガンガン震えるからあ♡  
お尻を叩いてはダメ…♡

うーん…  
危険なら仕方ないですね  
わかりました  
これから3回、射●している間も  
イくことがなければ  
特別に許して差し上げましょう



そんな……♡

もし意識を失ったら  
許可はなかったことに  
しますから

が、頑張ります  
頑張るからあ……♡

**あーっ**

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡

まさか耐えると言ってから  
3秒も経たないうちに  
イッてしまうとは…  
本当に堪え性のない  
おま●こですね

へえ…♡♡

うーん…魔族の奴らも  
面倒なことをしてくれましたね  
まさか証拠を残しておくなんて

この発情したメスは、お尻をつつけば  
誰にでも口を開くので、秘密厳守は  
あまり期待できないでしょうしね…

悩んだ末、司教はイリスを  
異端裁判にかけることにした



これより聖女イリス・クロメル  
の「淫乱猥褻罪淫行異端裁判」を始める!!

あんな顔をして  
ヤリ●ンだったのかよ  
…へ、へえ、ふくん

おお、これが  
聖女様のおマ●コ…

ご覧ください!  
性器と呼ぶに決して不自然ではない  
この淫乱に歪んでいる肛門を  
罪人はこの肛門を使って大勢の男性たちと  
性交した嫌疑を受けています

くはあ



うそ  
まさか  
イリス様が…？

おい、チ●ポを見ただけで  
聖女様のおマ●コが濡れて来たぞ

えっ、マジ？  
うわっ、本当に  
流れ落ちている…

ハッ♡♡

ハッ♡





極太チ●ポにケツ突かれながら  
潮を吹くとは…  
こりゃ、聖女様もやべえなW W

きやっ!  
な、なんですの!  
あんな卑猥な…!

猿轡を外してください  
弁明があるなら聞きましょう

ケツマ●コ♡  
ドチユドチユ  
だめえっ♡

イクツ、イツ  
おおツ

あー♡  
あー♡

あー♡  
あー♡





断罪されるイリスは正気に戻ると  
混乱する広場から逃げ出し  
教会の魔法陣を破壊してから  
領主の館へ向かった

やはりここへ  
来たか…

だが君に勝ち目はない  
おとなしく降伏して  
体を差し出すんだ

ヒッ

…ここでは一旦  
従うふりをして

わかり、ました  
体を…、捧げます

よくぞ言ったな！



おい、休んでいるのも  
ほどほどにしろ  
これでは今日一日中  
やっても終わらないぞ

は、いっ…  
動きます…

ふっ、はあん  
ひっ…

ゆき

ゆき

ゆき

ゆき

ゆき





おん

ひらっ!!?!?♥

ががが

セリッ♥  
セリッ♥  
セリッ♥

嫌、ダメ、また  
イツちやう、うっ♥

くっ♥  
くっ♥

またいくのか?  
全く、これじゃ誰が  
奉仕しているのかわからんな  
もっと真剣に腰を動かせ!

セリッ♥  
セリッ♥  
セリッ♥

くっ♥  
くっ♥

セリッ♥  
セリッ♥

きゃ♥  
きゃ♥

そんなこと言っても…♡  
おち●ちゃんが奥を突いたら  
頭の中がクラクラして…♡

はき♡

はき♡

ちっ、役立たずのま●こめ

よし、それならこうしよう  
「今から俺が射●する前に  
絶頂したら避妊を禁ずる」  
どうだ、これならお前も少しは  
真剣にやる気になるだろう？

はき♡

ば、馬鹿なこと  
言わないでください！  
そんなのが可能なわけ  
ないじゃないですか!?

恥ずかしいことを  
よくもまあ言うものだな

教会の聖女様は少しもチ●ポに耐えられない粗末なま●こと堂々と宣言するのか？

クッ

くっ……！  
そもそも、こんなに感じるように催●をかけたのはあなたでしよう!!

クフッ、クハハハハハ！  
催●とわかっていて抵抗が許されているか  
思っているのか

は？  
それはどういう…



「絶頂しろ」

「絶頂しろ」

くっ、くっ...  
や、やめて♡

絶頂

絶頂

絶頂

絶頂

絶頂

絶頂

絶頂



はへ、はへえ...♡

分かったか？  
俺が本気でやろうと思えば  
ただ「妊娠しろ」と  
言えば済むことだ



いく、いく  
イっっちゃう

ド  
セク

イリスは伯爵に  
何一つ逆らうことが  
できなかつたが  
なぜか魔法陣を破壊して  
館を出ていった

そのままギルドへ向かうと  
傭兵のグラッチェが待ち構えていた

ドム

あ、いらっしやっただんですね  
魔法陣の破壊は  
うまく終わりましたか？

ヒッ

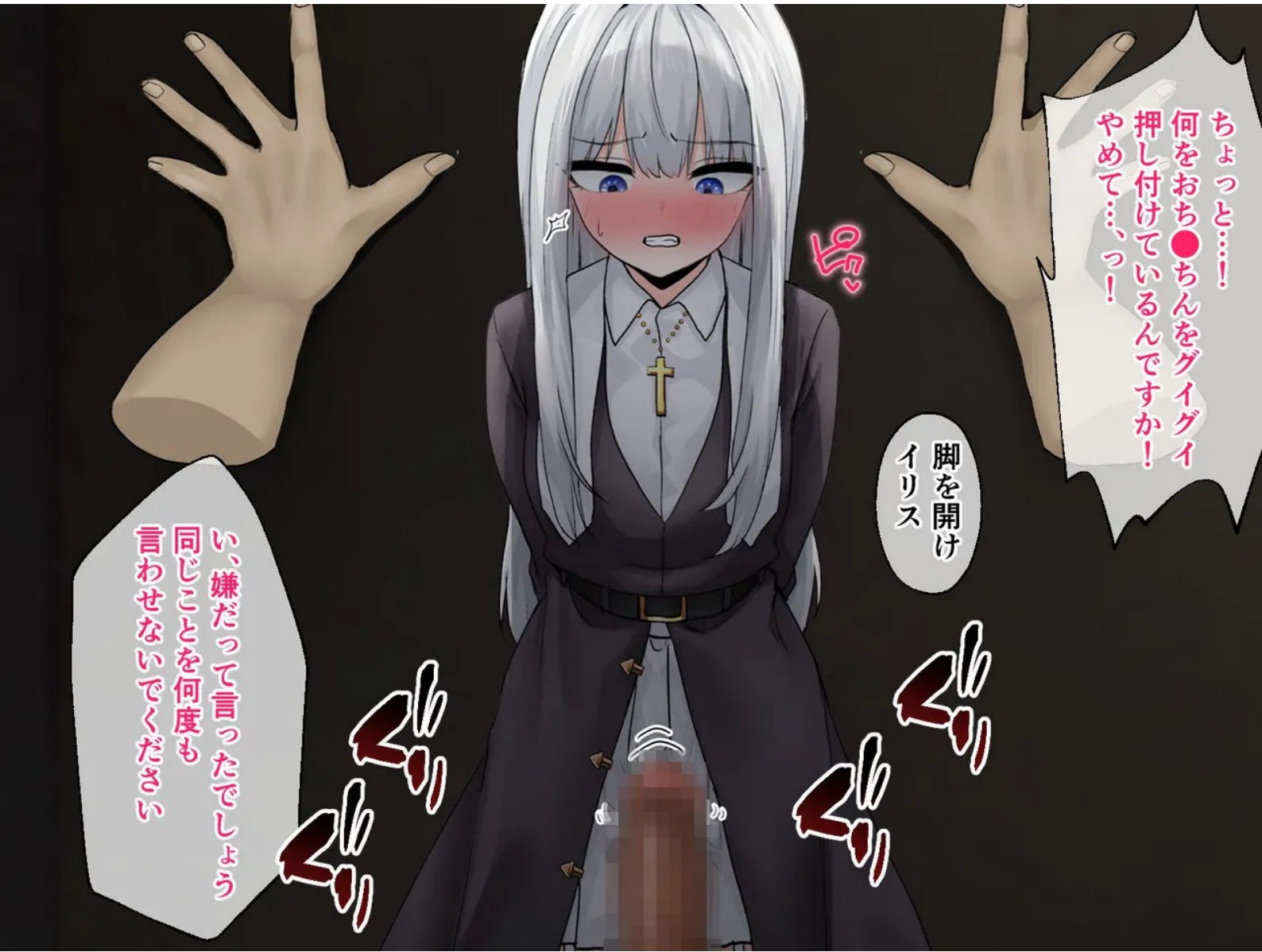
ああ  
お礼はマ●コでいいぜ

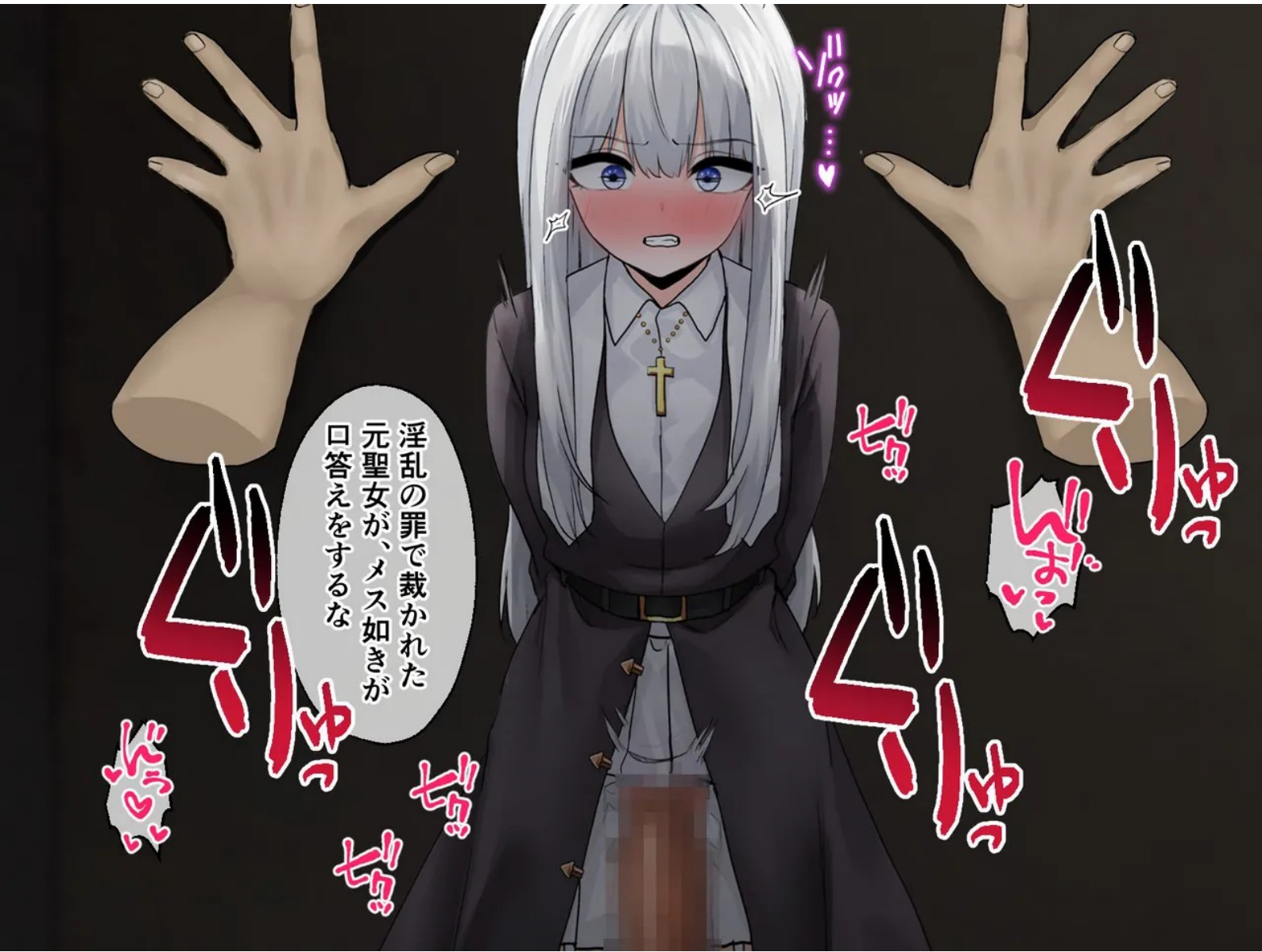
それは  
いやです！

ちよつと…!!  
何をおち●ちんをグイグイ  
押し付けているんですか!  
やめて…っ!

脚を開け  
イリス

い、嫌だって言ったでしょう  
同じことを何度も  
言わせないでください





淫乱の罪で裁かれた  
元聖女が、メス如きが  
口答えをするな

H/W ↓

はっはっはっ

はぁ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっはっ

おい、開け

ひゃ、ひゃいら...♡

濡れてるじゃないか  
愛撫もいらないだろう  
こんなにおいて  
なんで拒否したんだ？

あ♡

だって...

あ♡

あ♡

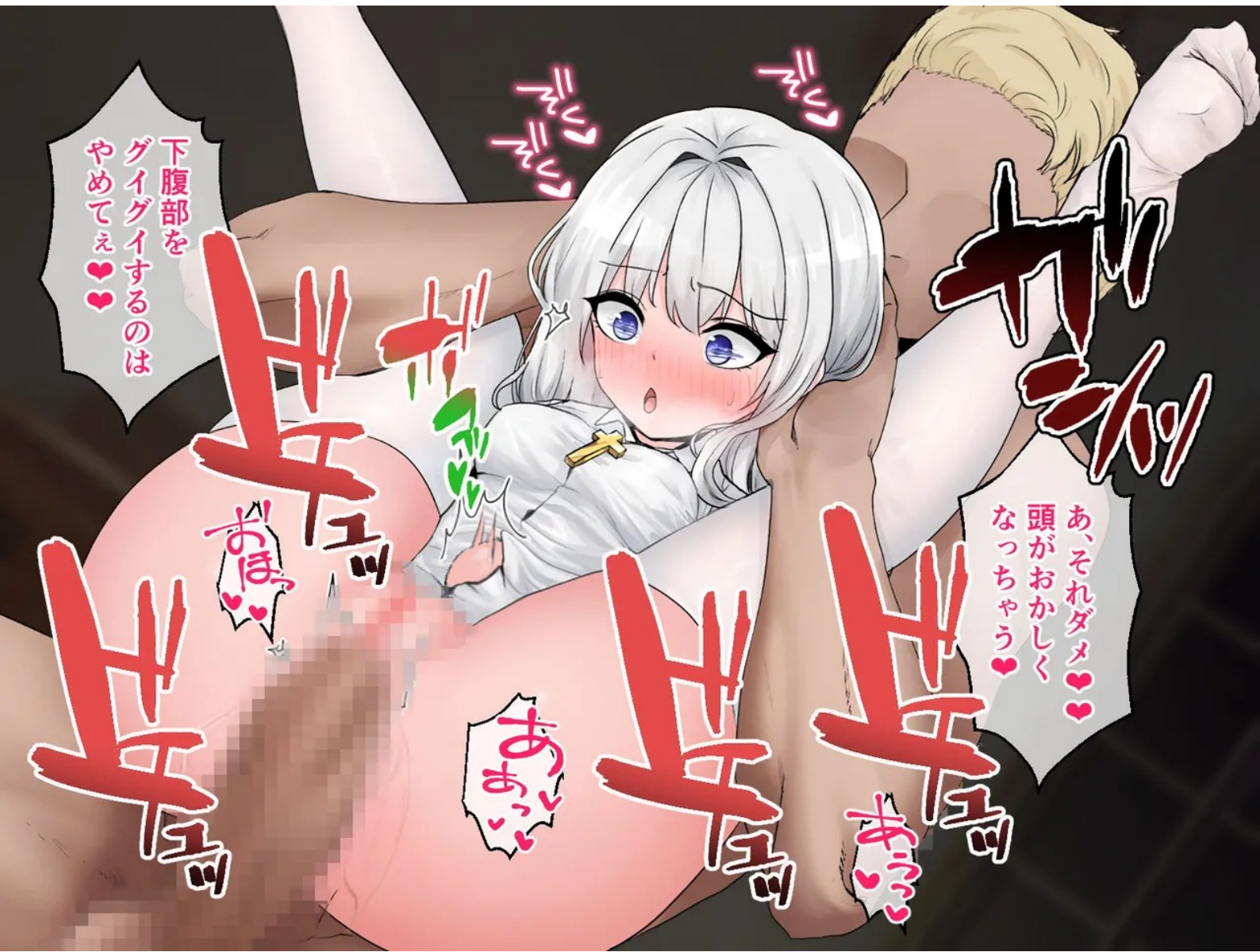
ほろろっ

ほろろっ

すんぽんっ







下腹部を  
グイグイするのは  
やめてえ♡♡

あ、それダメ♡♡  
頭がおかしく  
なっちゃう♡

サッ  
ゴッ  
おほ♡

あま♡

サッ  
ゴッ

サッ  
ゴッ  
あま♡

イツチャウ  
気持ちよくて  
おち●ちんで  
イツチャウ♡♡

ダメです…  
完全に子●でイツチャウ  
癖がついてしまっ

そのままグラッチェが  
満足するまで  
犯●れたのだった



その後、リッターと合流したイリスは  
ダンジョンの最深部に降りられるように  
なったことを確認し、装備を整えてから  
明朝に出発することが決まった



自宅に帰り、準備をしていたイリスは  
なぜか異様に体が発情していた

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

はき♡

こんな状態で  
ダンジョンなんて  
行けませんし  
どうしましょう…

考えあぐねたイリスは  
変装して娼館で働くこととした

こんにちは  
今日はよろしく  
お願いします

はま

はま

はま

スー…  
ハア…  
クツ…  
♡♡

はま

はま

あ、あの？  
始めてほしいん  
だけど…



あつ、申し訳ありません  
それでは、始めますね  
…はうん

あま、  
ま

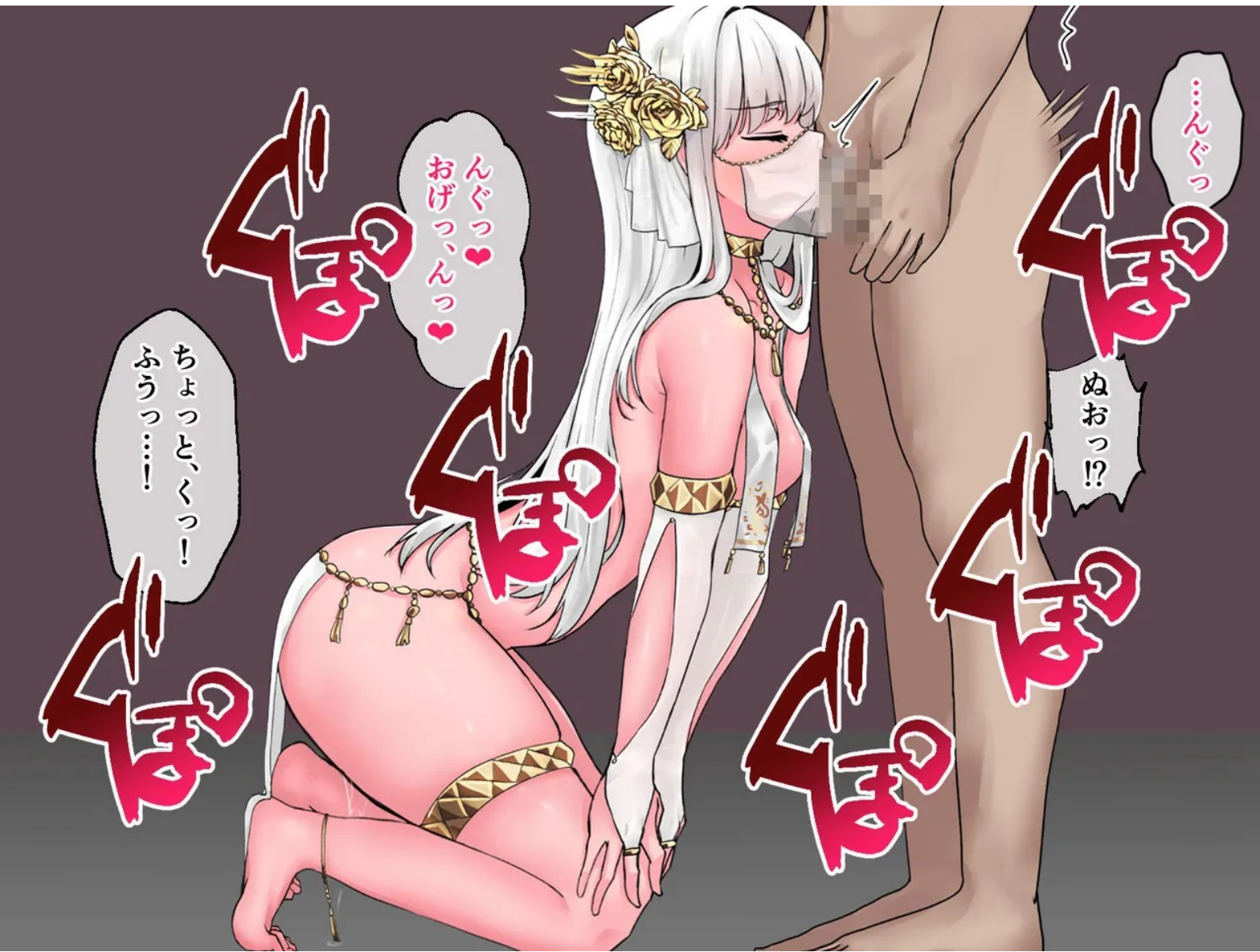
ちゅんちゅん  
ちゅん

あま、  
あま、  
あま、  
ジュルツ…  
ジュポツ…

はうっ…  
ふうっ…  
ジュプツ…

あま、  
あま、



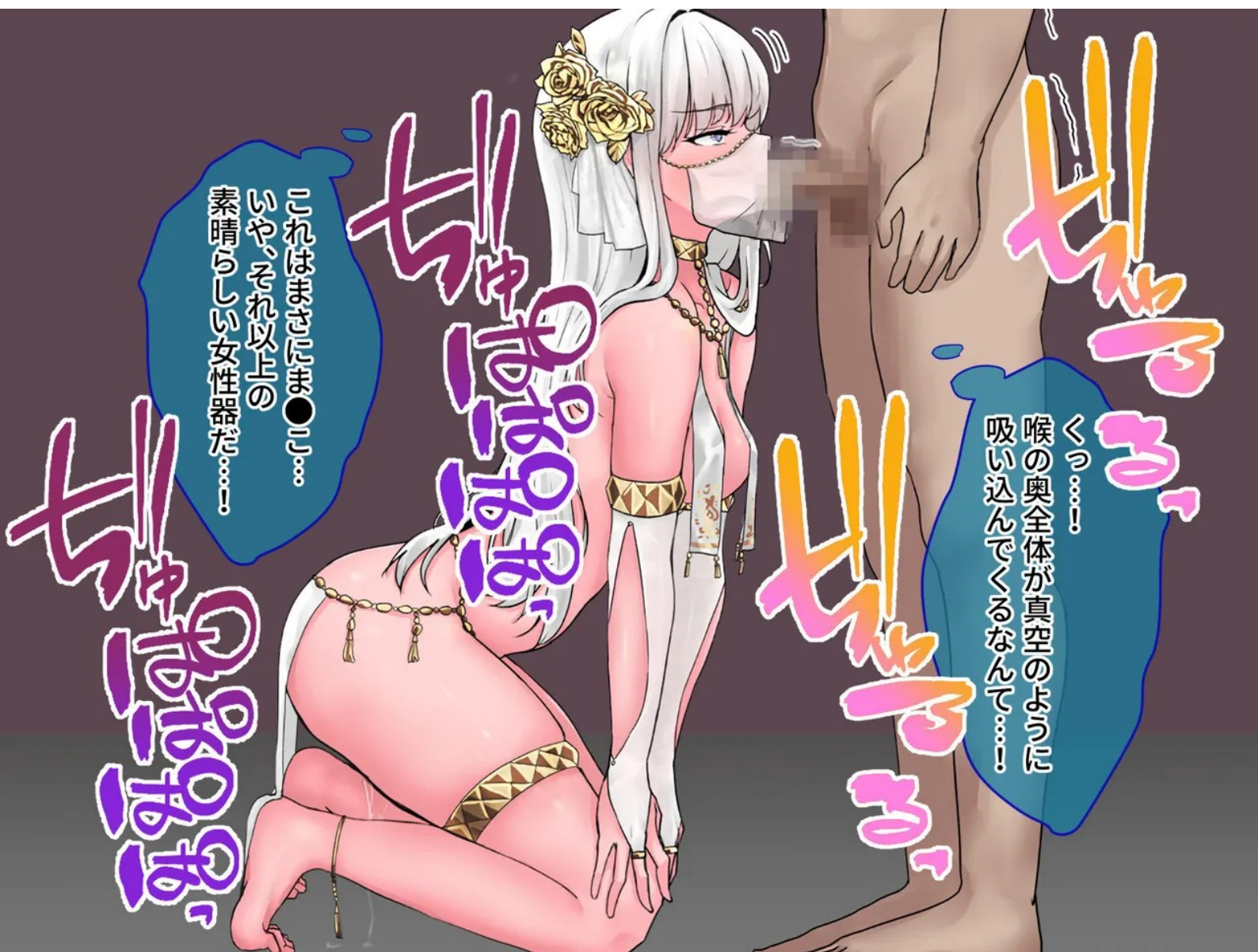


...んぐっ

ぬおっ!!

んぐっ♡  
おげっ、んっ♡

ちよつと、くっ!!  
ふうっ...!!



「これはまさにま●●い...  
いや、それ以上の  
素晴らしい女性器だ...！」

くっ...!  
喉の奥全体が真空のように  
吸い込んでくるなんて...！」

す、すみません！  
出るっ……！

んぐっ!!?

んぐっ……、ふうっ……  
チュルッ……





あの、すみませんが  
先に出ていただけますか？

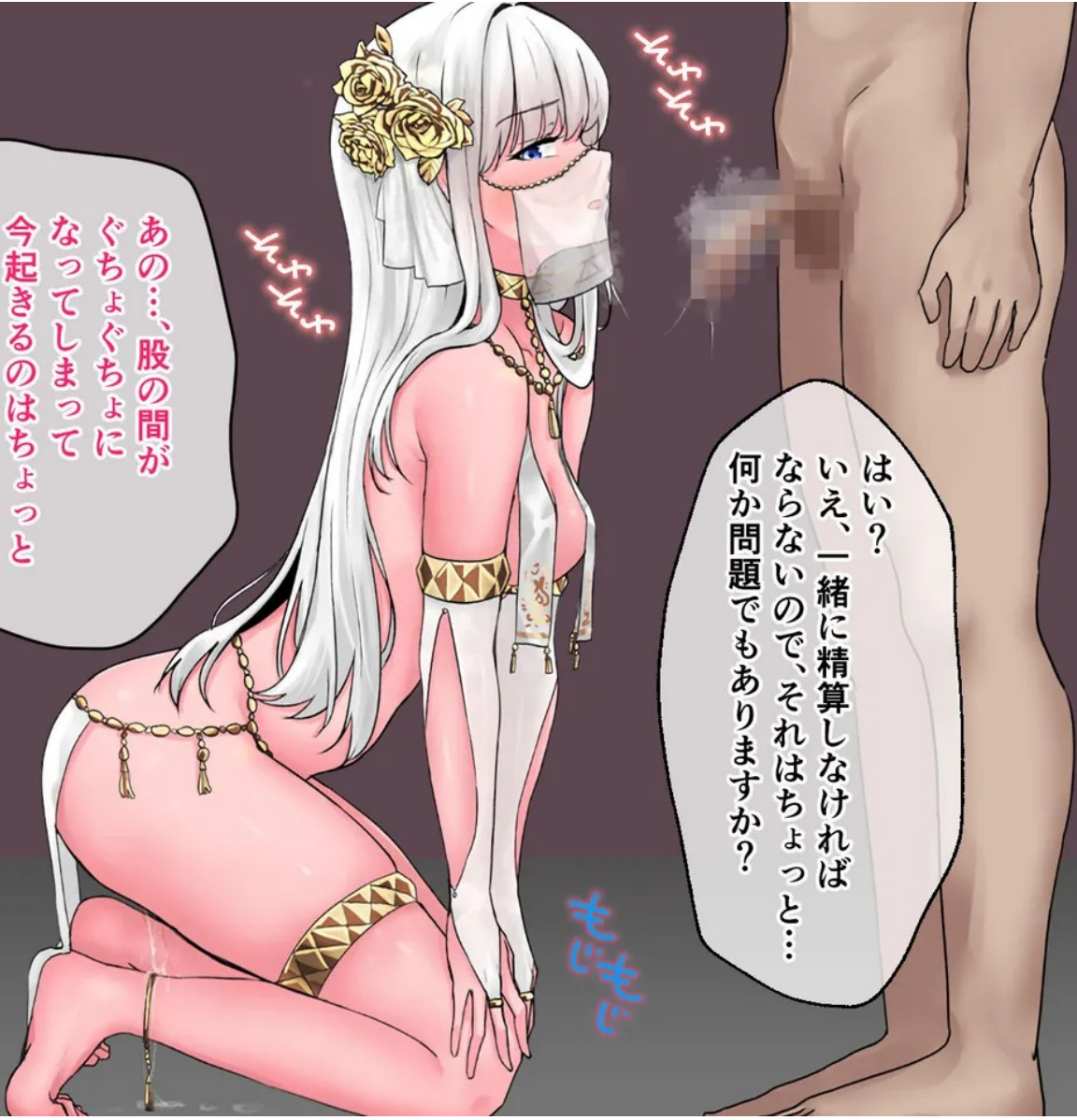
はい？  
いえ、一緒に精算しなければ  
ならないので、それはちよつと…  
何か問題でもありますか？

あの…、股の間が  
ぐちよぐちよに  
なってしまうと  
今起きるのはちよつと  
恥ずかしいというか…

もじもじ

んやんや

んやんや





…はい  
お願いします

も、もう一発  
やるんですか?

…っ  
♡

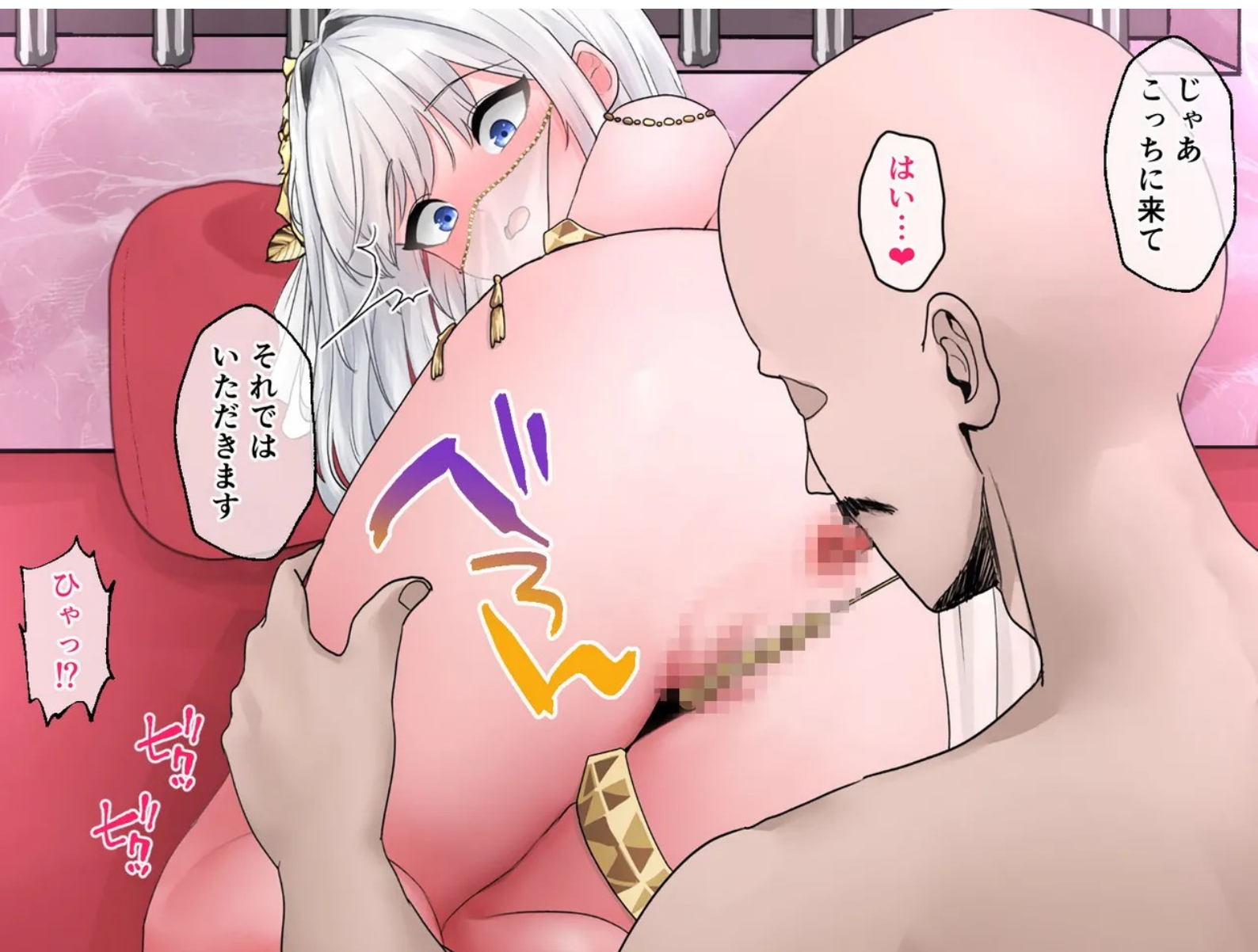
んんん

んんん

んんん

んんん

んんん



じゃあ  
こっちに来て

はい...♡

それでは  
いただきます

ひゃっ!!

ひゃっ!!



あの、お客様？  
そんなところよりも  
ま…、ま●この方を  
舐めてみては  
いかがでしょうか？

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

うっ…  
くっ…んっ…♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡



あの…  
お客様?!

もういい加減に…  
うっ…!!

うっ…!!

うっ…!!

うっ…!!

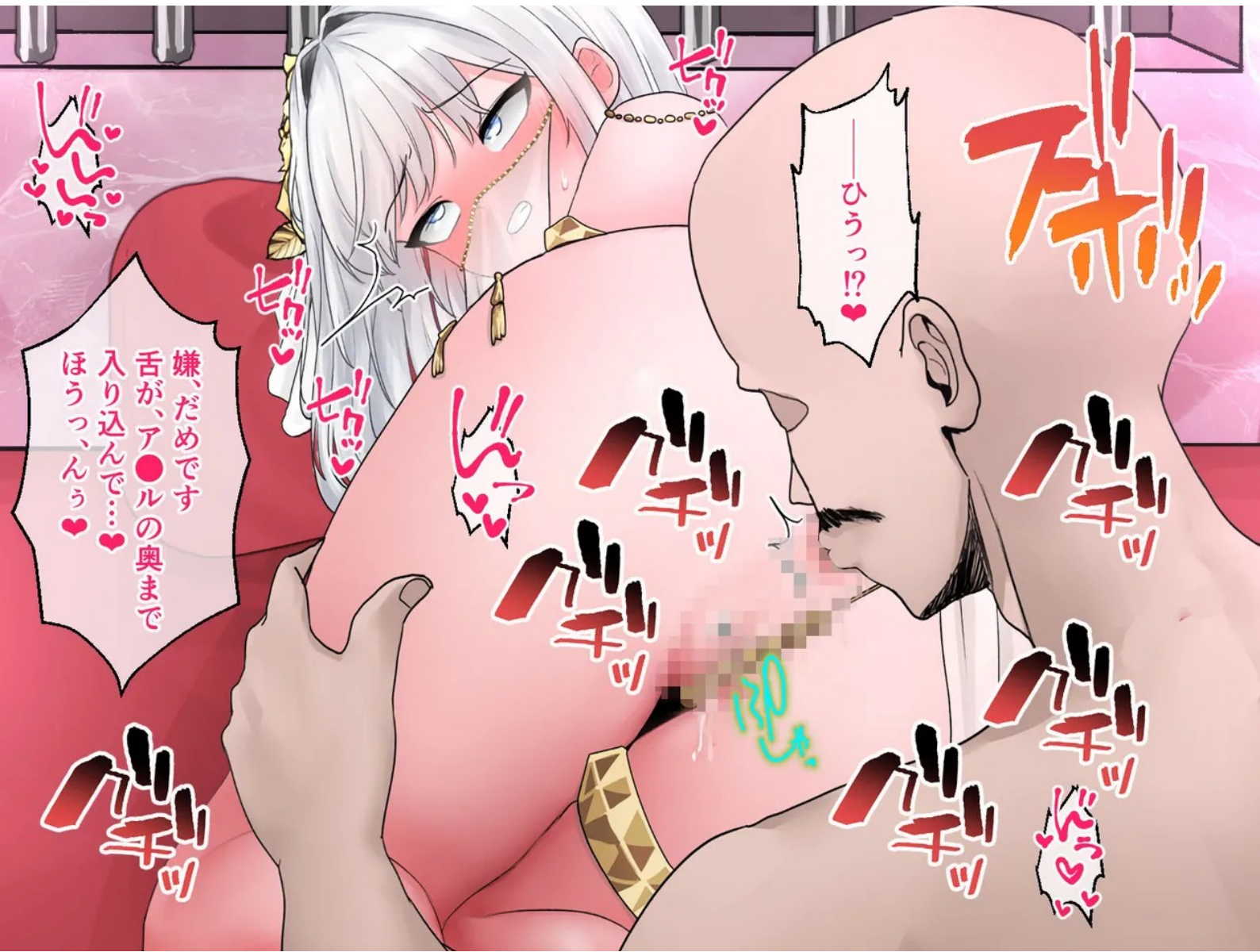
うっ…!!

うっ…!!

うっ…!!

うっ…!!

うっ…!!



セッ!!

嫌、だめです  
舌が、ア●ルの奥まで  
入り込んで…  
ほうっ、んう

セッ!!

セッ!!

セッ!!

ハッ!!

ハッ!!

ハッ!!

ズッ!!

ハッ!!

ハッ!!

ハッ!!

ハッ!!

ひゅっ!!  
♥

びゅ



しつこく  
ア●ルを  
いじめるのは  
やめてえ…♡

はっぴ

はっぴ

はっぴ

もう、早く  
ち●ぽ入れて  
ください…♡

ち●ぽ

はっぴ

ち●ぽ

はっぴ



はうっ ♥  
あん…♥

いきなり  
激しいっ ♥  
ダメ…♥

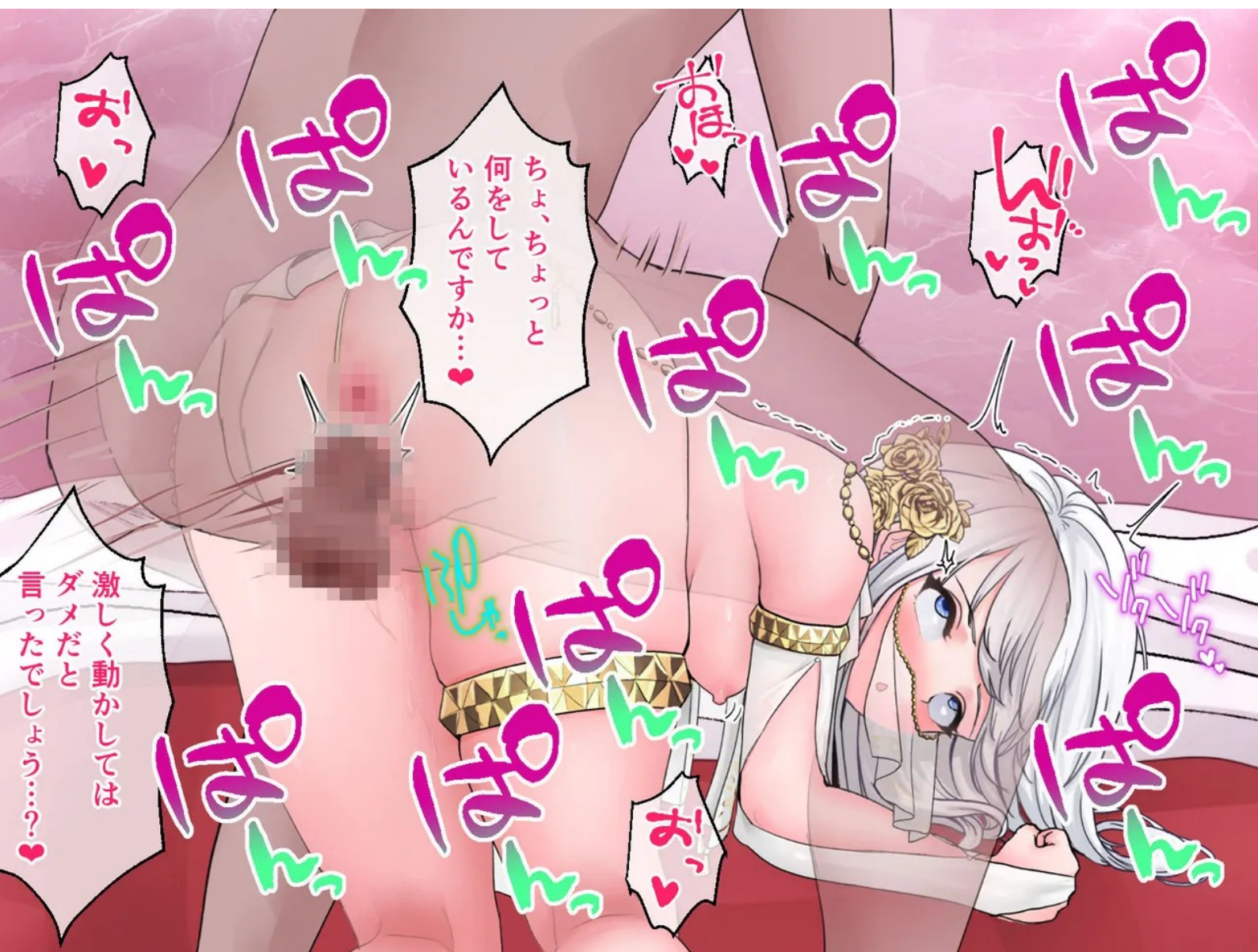
ひゃっ!?! ♥

あーっ ♥

あーっ ♥

あーっ ♥

はうっ ♥



ちよ、ちよっと  
何をして  
いるんですか…♡

激しく動かしては  
ダメだと  
言ったでしょう…♡

おほ♡

おほ♡

おほ♡

おほ♡



ひびい!?  
んっ、あっ  
あうっ  
♡♡♡

ま、また乱暴な  
セックスで  
イっちゃっ♡

おはん  
おはん  
おはん  
おはん  
おはん

♡♡♡

♡♡♡  
♡♡♡  
♡♡♡





やっほーのキョウ  
気持ちはさ...♡

イリスはすぐに  
次の客を取った

今日は私を訪ねてくれて  
本当にありがとうございます  
ふふ、ち●ぽに心を込めて  
奉仕させていただきますね…♡

あの…、もしかして  
聖女様ではないですか？

あ、あはは、嫌だな  
聖女様みたいな方が  
こんなところにいるわけ  
ないじゃないですか

んふんふん



そ、そうですか  
じゃあ…

…へ、へえ〜  
さすが騎士様  
相当な物を  
お持ちですね…

ほっ

ふふふ

スー  
…はあ〜…♡



…あの

それじゃ  
いただきます  
ハウム

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

うおっ……!  
これは……くっ……!



吸い込みが  
すごいっ  
うあっ...!

んうぶ♡  
ちゆるっ、ちゆうっ♡  
ふう...♡

ちゅあま、  
ちゅあま、  
ちゅあま、





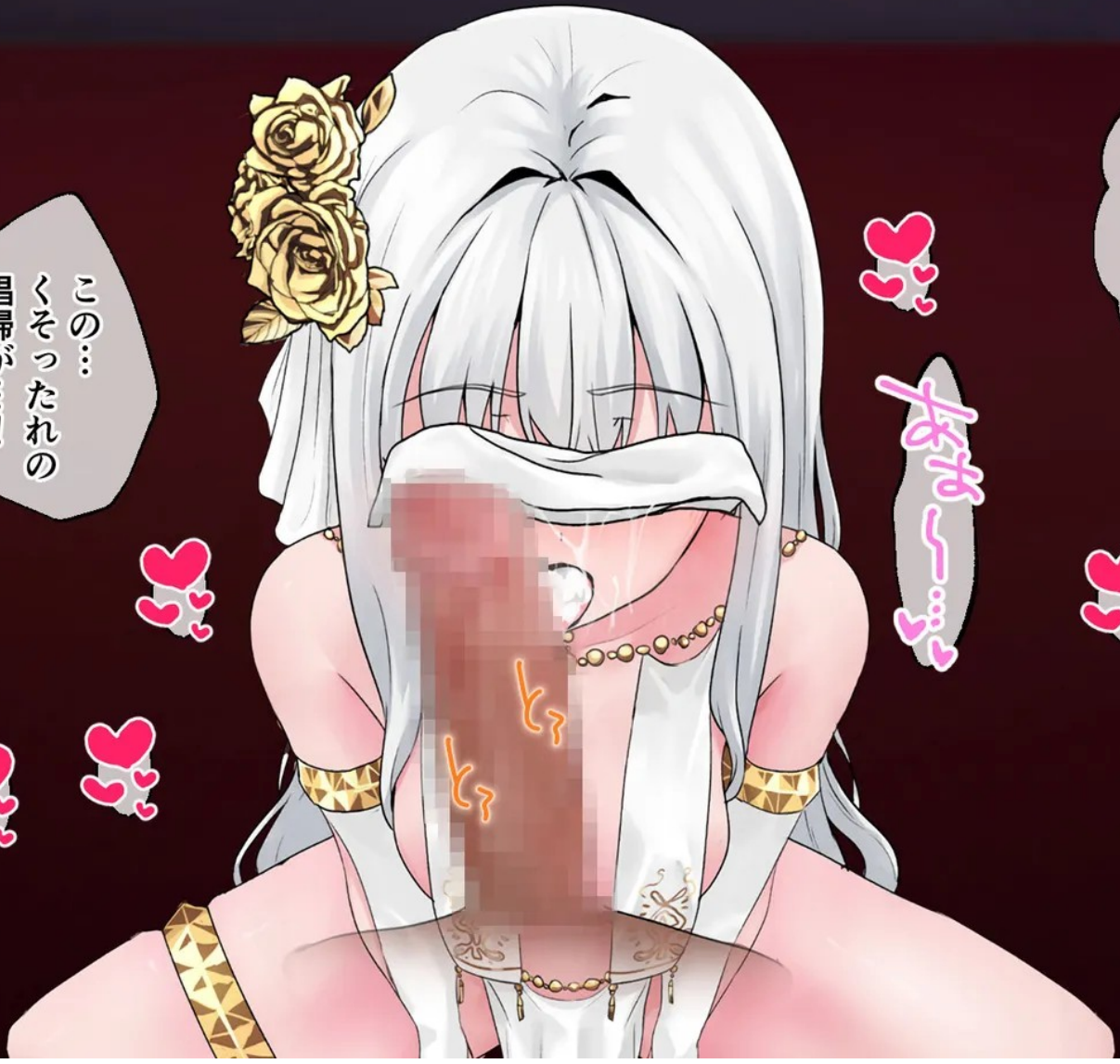
ふはあ……♡



はぁ……♡



この……  
くそつたれの  
娼婦が……!!



ム

ご主人  
にやひやいら...♡



水

くっ  
チ●ポを舐めるな!

水

だって、まだこんな立派に  
勃っていますもん...♡



足りないんでしょうか？  
本番、買ってくださいませんか…？

あつ、申し訳ありません  
私、お金がなくて…

そ、そんな…  
じゃあ無料で  
いいです♡

あの、本当に  
いいんですか？





はき♡

0ゴールドの性処理用ま●こ  
早く使ってください…♡

はき♡

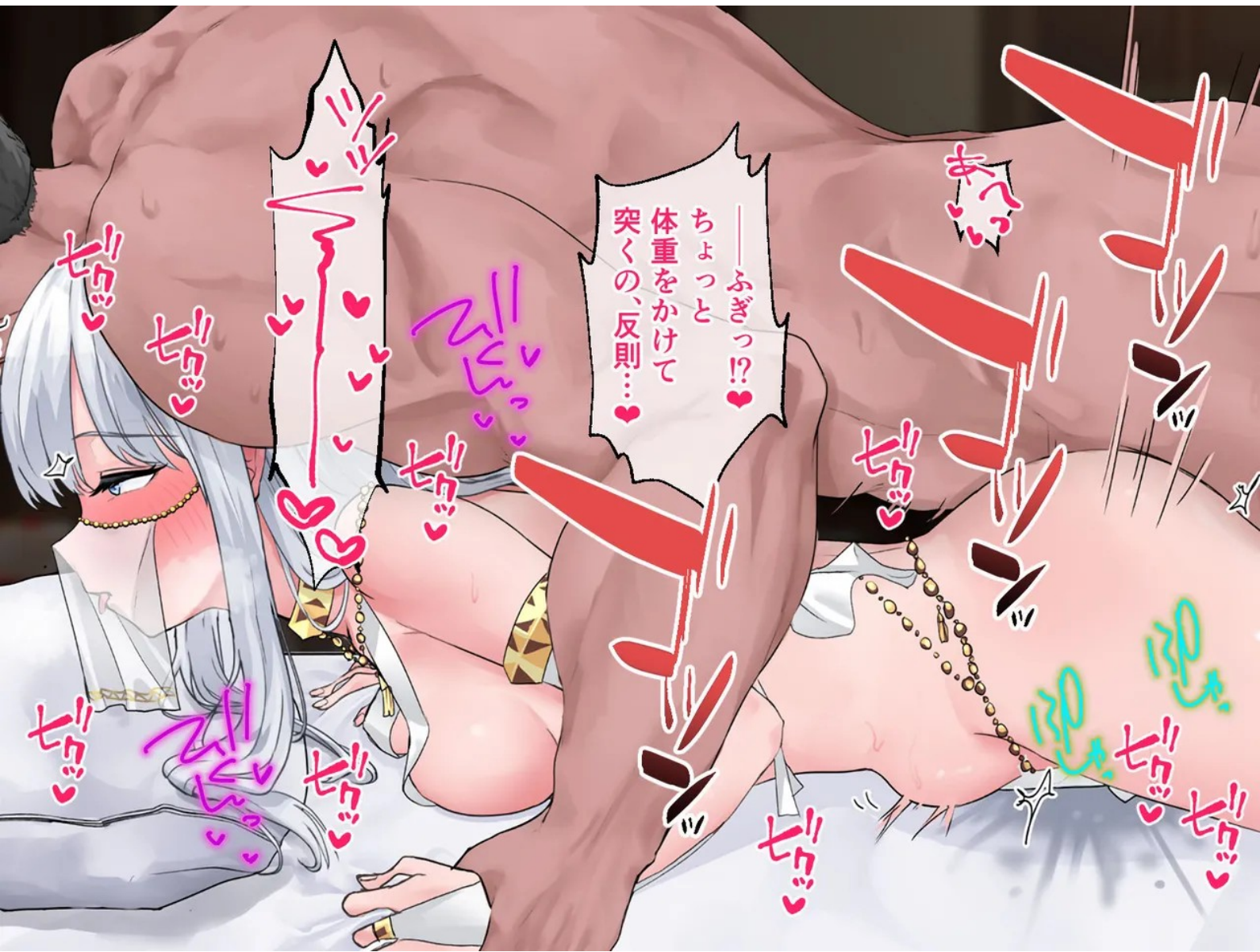
はき♡

はい♡  
と、特別ですから？

はき♡  
はき♡  
はき♡

はき♡





—ふぎっ!?!  
ちよつと  
体重をかけて  
突くの、反則…♡

セクセク♡

セクセク♡

セクセク♡

セクセク♡

セクセク♡

セクセク♡

セクセク♡

まひ♡

セクセク♡

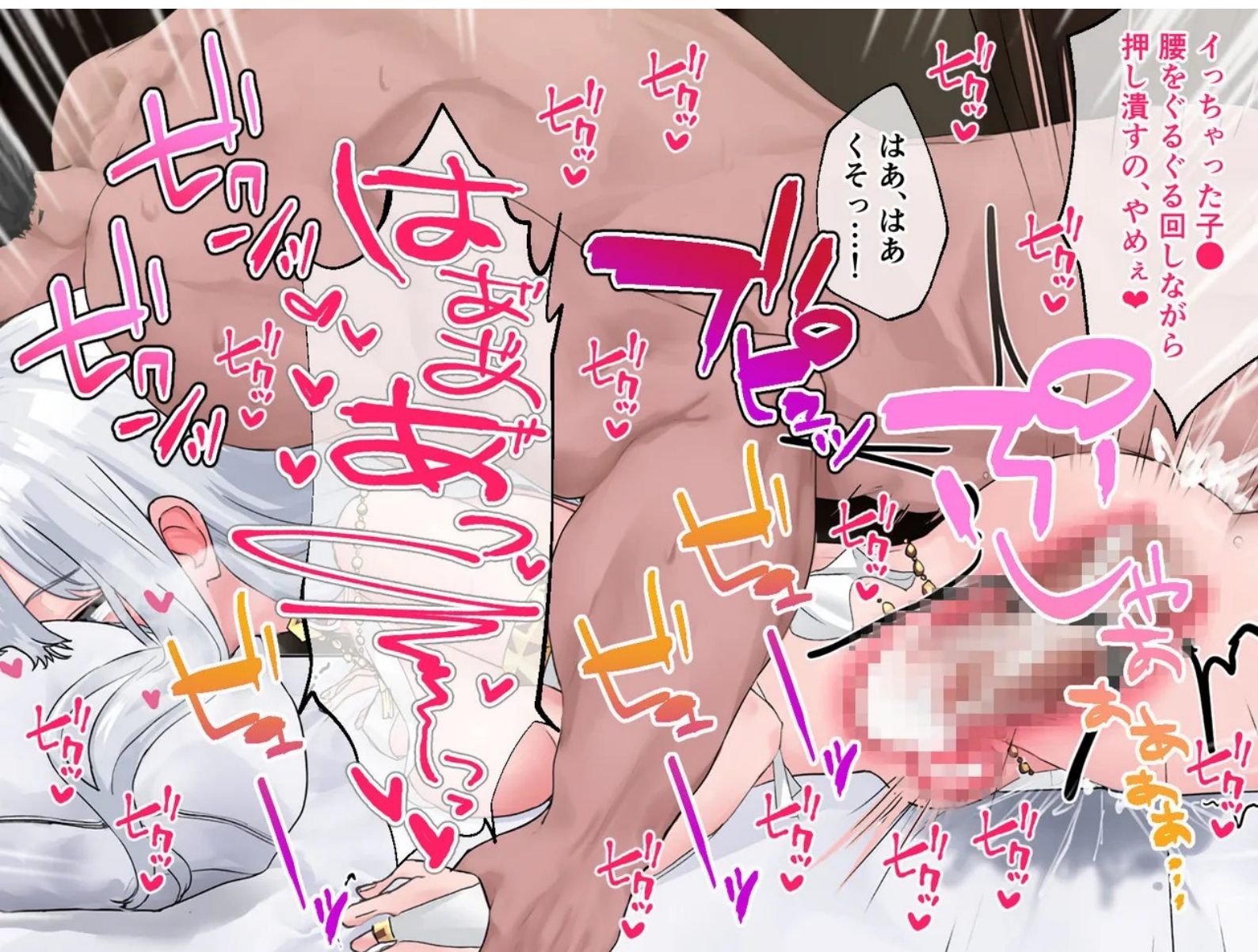
セクセク♡

セクセク♡

セクセク♡

いつちやった子●  
腰をぐるぐる回しながら  
押し潰すの、やめえ♡

はあ、はあ  
くそっ……!



あ、あの…  
延長、しませんか…？♡

…くっ…  
くっくっ…!!

あっ♡  
はうっ、あん♡♡

閉店時間が過ぎるまで  
イリスはずっとま●こを  
(Oゴールドで)売っていた

おほ♡♡



翌日、すっぴりしたイリスは  
ダンジョンの最深部へ向かい  
魔王の封印式を再構築した

ちよつと神聖力を  
使いすぎた余波が  
うええっ

ちよつと  
ここまで来て  
死ぬなんて  
冗談じゃないぞ!?

死にはしませんけど  
なんだか……っ……

イリスはリッターが  
制止するのを無視して  
どこかへぶらぶらと  
歩いて行ってしまった



イリスは導かれるように  
領主の館に入り  
数カ月が過ぎた頃  
伯爵と聖潔式を開いていた

これより  
ロチェスター・ド・サイレムと  
イリス・クロメル  
両者の聖潔式を開始いたします

いっしょ



まず…、ロチェスター・ド・サイレムは  
イリス・クロメルに対していかなる  
義務や責任も負わず、人ではなく  
物のように雑に扱うことを誓いますか？

はい  
誓います

イリス・クロメルは  
ロチェスター・ド・サイレムの  
性的な要求を拒むことはせず  
常に彼に使われることができるよう  
ま●こを管理し、いつでも彼が望むときに  
チ●ポを舐めて奉仕することを誓いますか？

はい  
誓います…♡

おっ

おっ

それでは、続いて  
証の授与式を行います  
男性側から女性に  
円形の証を渡してください

きゅん

アン…♡

きゅん

次に、女性側から  
男性に円形の証を  
渡します

きゅん

…んぐっ♡

きゅん





ちゅっ

ふあ…♡

はっ

はっ

んぐっ…ちゅるっ  
ふうっ…♡

唇に塗られていた回紅が  
まるで指輪のように  
チ●ポを囲んだ



それでは最後に  
ロチェスター・ド・サイレムと  
イリス・クロメル  
お二人ともこの誓約書にそれぞれ  
指印とま●こ印を押してください

こうしてイリスは  
伯爵と性●隷契約を結び  
完全に支配されること  
になったのだ





(C)実用主義カンパニー